

令和6年度第3回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 要点録

■会議の日時等

日時 令和7年(2025年)2月5日(水) 午前10時～午前11時35分

会場 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階多目的室

出席者 協議会委員

【廃棄物に関し学識経験のある者】

宮脇委員

【市民委員】

新井委員、小松原委員、加納委員、畑中委員、タルマン委員、森谷委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

高松委員、駒沢委員、津嶋委員、内田委員

【環境政策課長】

中平委員

【施設課長】

細谷委員

事務局

【環境共生部】

小平環境共生部長兼クリーンセンター長

【ごみゼロ推進課】

小澤課長、丸山係長、河本

欠席者 協議会委員

【市民委員】

川面委員、小野委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

大野委員、横堀委員

傍聴者 1名

次第

<協議会>

1. 会長挨拶
2. 明星大学 宮脇先生による講演「プラスチックの環境問題と資源循環」
3. グループディスカッション
4. その他

■主な内容

<協議会>

1. 宮脇会長より挨拶
2. 明星大学 宮脇先生による講演「プラスチックの環境問題と資源循環」
 - ・別添参照
3. グループディスカッション
(A グループ)
 - ・プラスチックの利便性の高さ
 - ・プラスチックでも、汚れ等により焼却処分に回る量が多い
 - ・分別が徹底されていないので、さらなる周知啓発活動が大事
 - ・講演内容で、日本が中国へ廃プラスチックを輸出していることは非常に印象的であった
(B グループ)
 - ・プラスチックによる人的被害
 - ・ペットボトルの大量消費（メーカーによるリサイクルは非常に良い）
 - ・リサイクル現場を知ること・見るのが大事
 - ・リサイクルは最終手段
 - ・消費者側の意識の変化も必要（例：ストローがプラ製から紙製に変わったが、また元に戻っている面も見られる等より）
4. その他
 - ・ひの・まちの生ごみを考える会より令和 7 年 3 月 1 日（土）実施予定の講演会について PR
 - ・次回の開催日程等を事務局より説明
次回は、令和7年5月中旬頃開催予定